

当科クリニカルフェロー、4つの特色

- 1 フェロー制度中、放射線科・病理診断科・腫瘍内科など、乳腺外科として必要な診療科をローテーションし、診断から治療まで集中して包括的に学ぶことができます。
- 2 上級医の指導が非常に熱く、積極的に学会発表や論文発表の機会を得ることができます。
- 3 他科との垣根が低く、チーム一丸となって乳癌治療に臨むことができます。
- 4 年間手術件数が多く、手術手技を学ぶ絶好の場です。

クリニカルフェローからのメッセージ

クリニカルフェローは、レジデントが終了した卒後6年目以上の学年の方々に適当な研修プログラムです。3年の研修期間になっており、初めの1年は乳腺外科、2年目は病理診断科、放射線科、腫瘍内科と様々な科をローテーションし、3年目は乳腺外科に戻って更なる研修を重ねます。

乳腺外科としては主に新患外来を担当します。経験できる症例数は非常に多く、年齢も非常に若い方から、年配の方まで様々です。現在乳癌治療は非常に多様化してきています。外科医と言っても、手術だけでなく、化学療法・ホルモン療法・放射線治療の知識は必要で、さらに最近では遺伝学的検査や妊娠性保持などについても知っておく必要があります。術前化学療法を行うのか、手術を先行するのか、乳房温存するのか、全摘するのか、乳房再建をするのかどうか、遺伝学的検査まで勤めた方がよいのかどうか、といったいろいろな課題を抱えています。多様な患者背景を把握した上で、最適な治療方法を患者さんと共に考えていくことが必要です。

聖路加では4人のスタッフの下、大体3人ほどのチームで構成されており、1人の患者さんを一緒に診察し、手術を行い、術後治療を検討します。そうすることで幅広くマネージメントができるようになります。

また、放射線科や病理診断科、腫瘍内科などの他科をローテーションできることも非常に魅力的です。定期的にカンファレンスも行われ、学会発表や論文の執筆も多く機会を与られます。病院の特徴として、海外の方も多く、英語に接する機会が非常に多いです。最初はきついです。徐々に慣れることができます。今後留学を考えている人や、そうでない人も、こうした環境に一度身を置くことは必ずプラスになると思います。是非一緒によりよい乳癌治療を目指して頑張りましょう。

聖路加国際病院 乳腺外科
クリニカルフェロー 越智 友洋

処遇・休暇

【身 分】 乳腺外科クリニカルフェロー(NCF1)

【勤務日】 1ヶ月単位の変形労働時間制

【給 与】 月額490,000円程度

(住宅手当・扶養手当・通勤手当等別途支給、福利厚生あり)

随時見学受付中

みなさまからのご連絡をお待ちしています
お問い合わせは下記連絡先へ



聖路加国際病院 乳腺外科

St. Luke's International Hospital, Breast Surgery

〒104-8560 東京都中央区明石町 9-1

TEL/FAX. 03-5550-7510

<http://www.luke-bc.net/careers.html> (メールフォームからお問い合わせください)